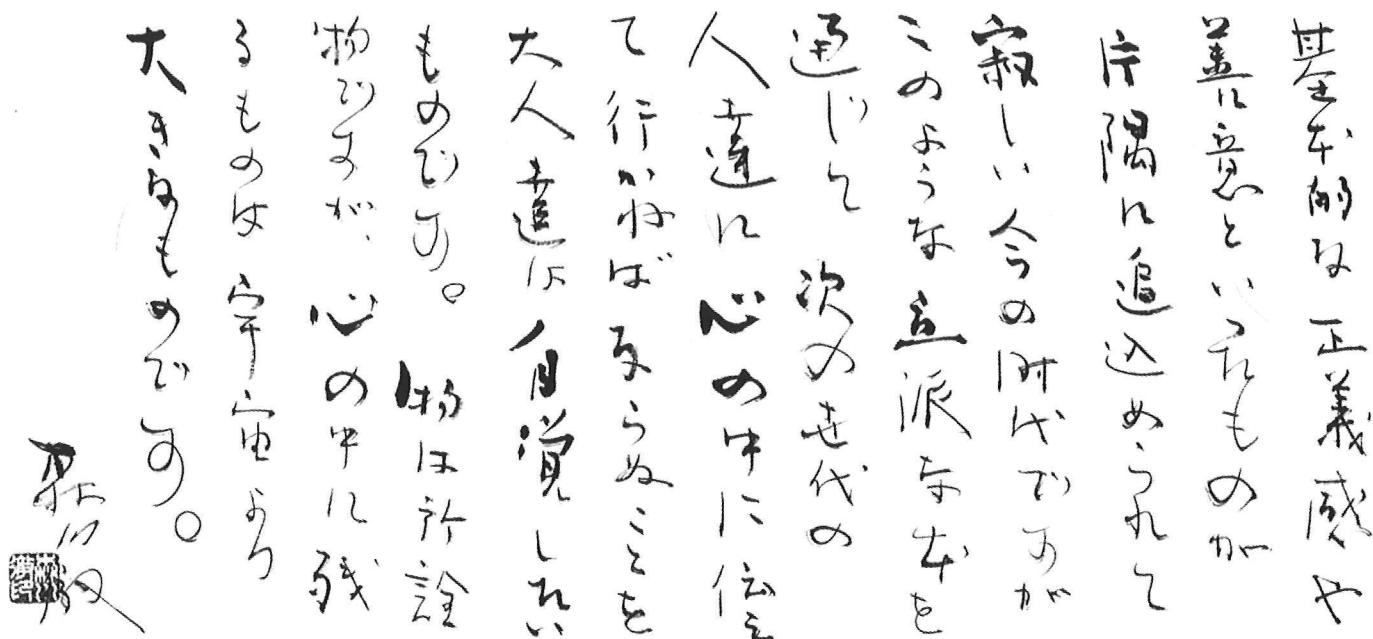


事業テーマ「育てよう 思いやりの心」



題字の「子どもたちへ」を書いて頂いた森川徹氏が筆をとるに当たり、思いを馳せたお気持ちです。

1. 小冊子「子どもたちへ」－歴史に学ぶ思いやりの心－ 発刊贈呈事業

歴史に刻まれた日本人の数多くの善行の中から国際貢献に関するもの、福岡にゆかりの深いものをそれぞれ3話ずつ選りすぐって小冊子を刊行致しました。

執筆はこの方面に造詣の深い太宰府高校の占部賢志先生にお願いし、編集に当たっては福岡市教育委員会のご指導を頂戴しました。また、絵心のある当クラブの会員が挿絵を入れました。

13,000部作製し福岡市内の全小学校に贈呈します。この冊子は個人へ贈呈ということではなく、各校の所蔵としていただき、毎年六年生に読み継いでもらうことができればと考えています。

さらに、今後、当クラブ青少年奉仕委員会の継続事業として感想文コンクールを呼びかけ、この冊子への関心を喚起していきたいと思っています。

この冊子が、将来の日本を託す子どもたちの心の糧として大切に読まれることを心から願っています。



夢でもなければ理想でも
私達仲間の実行の
記録です。実に誇ら
しい物語です。
感動、感激の連続
で読み終わるあと
爽快感を素直に分り
ます。いざとならう
私達にも出来るの
だと思えるもの。そんな
力を天から与えられ
ると思えます。繰り
返してもいい私達仲間の
真実の行いなのです。

2. 心身障害者小規模作業所（無認可）支援と

福岡友の会ボランティア活動協力の複合支援事業

心身障害者小規模作業所とは、障害者の方々の日中の介助や社会参加促進のために軽作業訓練を行い、その製品をわずかではありますが利用者の収入につなげようと機能している施設で、認可(公的)授産施設の不足を補完する役割を果たしています。

無認可であるが故に公的補助が極端に少ないこと、景気が悪いが故に受注が少ないこと等で経営は大変苦しく、十分な活動ができない現状であります。

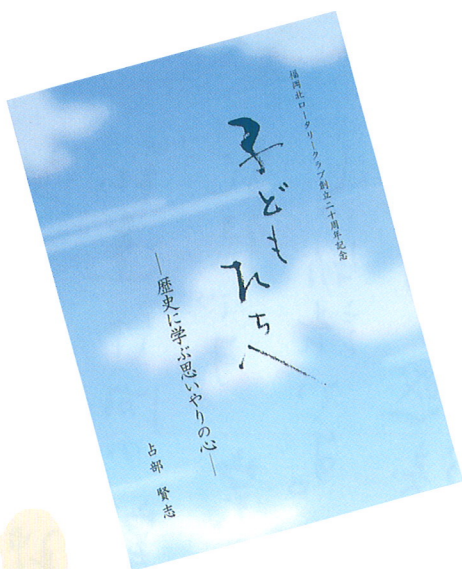
今回、これらの作業所へ介護用エプロンとフキンを発注することで作業所運営の活性化に資することができればと、この事業を企画しました。

また、製作された品を「福岡友の会」が行っている高齢者施設等へのボランティア活動に役立ててもらおうべく寄贈することにしました。

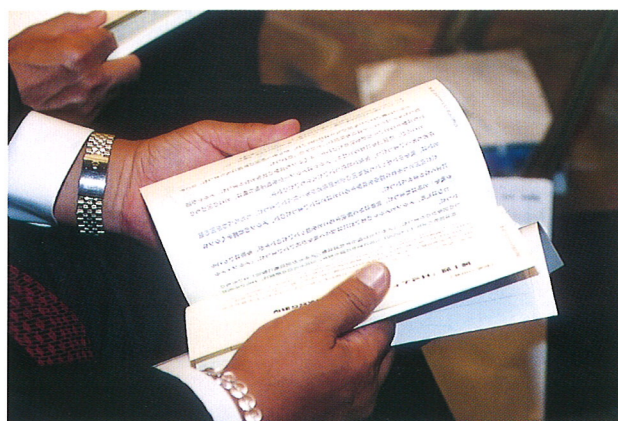
製作に必要なタオルは理容業界よりご寄贈頂いたり、繊維関係某社にはエプロンの生地を廉価で提供して頂いたり、多くの皆様のご協力を賜りました。

この事業についても、今後、社会奉仕委員会での継続事業と位置づけ、支援を続けていきます。

創立20周年記念事業のご紹介



小冊子「子どもたちへ」
—歴史に学ぶ思いやりの心—
発刊贈呈事業



鐘川 小林 両会員による
小冊子の挿絵



心身障害者小規模作業所（無認可）支援と
福岡友の会ボランティア活動協力
の複合支援事業

でき上がった介護用の
（エプロン）と（布巾）

